

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	手術室専任薬剤師による周術期抗菌薬介入の有用性評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 羽藤 直人 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 薬剤部 (職名) 薬剤部長・教授 (氏名) 田中 守
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日
対象となる方	愛媛大学医学部附属病院において、2020 年 4 月から 2024 年 3 月までの間に全身麻酔下で手術を施行され、周術期感染予防を目的とした抗菌薬投与を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、身長、体重、アレルギー歴、既往歴、身体所見、抗菌薬使用状況、血液検査データ、手術記録、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	当院では、2022 年より手術室専任の薬剤師が中心となり、手術前後のお薬の管理をより充実させる取り組みを行っています。その一環として、手術後の感染予防を目的とした抗菌薬（感染予防のための薬）の適正な使用を支援しています。具体的には、抗菌薬アレルギーをお持ちの方への代替薬の提案や、腎機能に応じた投与タイミングの調整、体重に応じた適切な投与量の提案などを医師へ行っています。 本研究では、これらの取り組みについて、薬剤師の提案が医師にどの程度受け入れられているかを調べるとともに、薬剤師の介入が手術後の感染（手術部位感染）や抗菌薬によるアレルギーの発生にどのような影響があるかを検討します。これにより、薬剤師の関与が患者さまの安全性向上に役立っているかを明らかにすることを目的としています。

個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院薬剤部 黒河 幸朗 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5872